



現状報告と闘いの進め方をのべる吉田本部書記長

最初に奈良岡委員長が主催——間幾多の曲折がありながらも、者を代表し挨拶に立ち、この——昨年の九・一五判決を機に大闘争団から解決への決意表明、青森県平和推進労働組合センターからの激励、DLR基金カンパの贈呈と進み、大同団結を迫る闘いに全力を挙げることを確認した。

神宮議長にDLR基金カンパ

地方本部は、「国鉄闘争に勝利する4・1総決起集会」(参加者約200人)を盛岡市の岩手県労働福祉社会館で開催した。集会は、中央段階で昨年の九・一五判決を機に当事者の闘い、意見統一の場として外部共闘の参加も得ての開催となつた。集会は、國労本部書記長の現状報告と今後の闘い、全国闘争団連絡会議議長、音威子府闘争団から解決への決意表明、青森県平和推進労働組合センターからの激励、DLR基金カンパの贈呈と進み、大同団結を迫る闘いに全力を挙げることを確認した。

＝共闘の仲間含め約200人参加＝

姿勢を訴えていく。五月の連休明けから北海道・九州から全国キャラバンで世論喚起に全力をあげる。(2)国土交通省・政府への対策を進めていく。(3)関係者間でぎりぎりの要求作りを議論し決定していく。(4)JRに雇用の場を人道的・同義的立場で求めていく。

同団結で政治解決に向けた取り組みが進められている現状報告と新たな局面を迎える中での組合員の総團結と共に闘争団体への協力を求めた。続いて、吉田本部書記長がこの間、闘争団員、JR組合員が本当に頑張ってきた。

國労闘争の現状報告に立ち、

「この間、闘争団員、JR組

合員が本当に頑張ってきた。

國労闘争の現状報告に立ち、

